

令和5年度 第4回

# 施設関係者評価資料



令和6年3月24日(月)～28日(金)

※委員の皆様のご都合に合わせて実施予定

- 保育と教育活動の参観
- 委員会協議
  - ・令和5年度園評価講評内容について
  - ・施設関係者評価まとめについて
  - ・その他

幼保連携型認定こども園  
はぐろ保育園

# 令和5年度 施設関係者委員会活動報告書

## 幼保連携型認定こども園はぐろ保育園

回	開催日 場所	活動内容	摘要 (委員の人数)
1	令和5年 8月25日(金) 受付9:45～ 参観10:00～ ・園庭及び 屋内にて	<b>第1回 施設関係者委員会</b> ○ 保育と教育活動の参観 ・「はぐろ イン 夏」 ○ 委員会協議 ・年間活動計画について  ・経営方針について ・本園の現状報告 ・意見交換	2名
2	令和5年 10月31日(火) 受付9:45～ 参観9:30～ ・園庭及び	<b>第2回 施設関係者委員会</b> ○ 保育と教育活動の参観 ・「ハロウィンパーティ」 ○ 委員会協議 ・クラス目標と実践事例 ・中間報告 ・園で取り組む安全対策と職員研修 ・保護者支援と地域交流 ・保育者の自己評価 ・意見交換	2名
3	令和6年 【1回目展示】 2月8日(木) 9日(金) 10日(土) 【2回目展示】 2月16日(金) 17日(土) 19日(月)	<b>第3回 施設関係者委員会</b> ○ 保育と教育の参観  ・「どんぐり祭」(作品展)の鑑賞 ○ 委員会協議 ・保護者アンケートと保護者評価 ・異年齢の交流と保護者支援 ・食育・日本の文化を知らせる活動 ・保育者の自己評価(2回目) ・教育活動の結果・評価・まとめ ・意見交換(作品展の感想含む)	3名
4	令和6年3月 ※委員の都合に 合わせて実施	<b>第4回 施設関係者委員会</b> ○ 保育と教育の参観 ○ 委員会協議 ・関係者評価(最終評価)(評点) ・次年度に向けての活動	3名

# 施設関係者評価

はぐる保育園は、「園の教育と保育」について保護者アンケートを行いました。また職員の自己評価を行い、目標の達成状況や達成に向けた取り組みが適切か評価及び、合規性のチェックを重ねています。更に客観性を高めるための関係者評価委員会を設け、外部評価を実施しその結果を公表します。

施設関係者評価委員 3名

5…十分達成されている      4…達成されている      3…どちらでもない  
2…取り組まれているが、成果が十分でない      1…十分とは言えない

	評価項目	評価	助言
1	建学の精神に基づき園が運営されているか	4.67	創立当初の建学の精神に基づき、理念に即した保育が展開されている。
2	園の状況を踏まえた教育・保育目標等が設置されているか	4.67	「園の方針」「保育内容」について変わらず評価が良く、取り組みの内容に共感する保護者が多いことや、その内容に定評があるのがわかる。また、作品展の展示日数を複数日設ける。
3	園の教育課程（全体の計画）の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解がなされているか。	4	0歳児を親子参観での参加型にするなど多くの保護者の参加への配慮や展示の工夫などがあり、友達や保育者との関わり、育っていく子どもの姿を伝えようとする試みが随所に見られた。
4	幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、個々の教職員が理解しているか。	4	教育活動の年間活動の回数が、多いのか少ないのか経過表からは見えてこないが、「教育活動の結果・まとめ」については非常に良くまとまっていて、「良かったこと」を踏まえ、「今後の課題」へと展開し、最後に「結果・評価」でまとめてあり、活発な運営と活動がうかがえる。
5	指導計画の立案と実施が適切になされているか	4	研修の成果については、「復命書」の他教育活動の成果として記録し公表してほしい。
6	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った乳幼児の発達に即した指導がなされているか。	5	「安全教育」に於いては、「ヒヤリハット」を職員で共有しながら、小さな変化に気づくための十分なコミュニケーションや、休憩時間の確保について検討と改善がなされていた。
7	事故防止のために、日常どのような点に留意すべきか全職員が理解し連携の上、安全点検や安全に対する指導が実施されているか。	4.33	また、「避難訓練」に於いては、多様な災害を想定した対応訓練と共に、園児が「自らの命を守るための訓練」として、教材を利用した防災訓練や定時に行う安否確認のためのお名前点呼
8	日常の健康観察や疾病予防のための取り組み、健康診断が実施されているか。	5	他、バスからの脱出訓練など年齢に合わせた実施訓練も行われている。
9	避難訓練等を通して、教職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。	5	

10	特別な支援が必要な幼児のための、施設や学校の利用者との連携が図られているか。	4	園医による健康診断、薬剤師による環境調査が行われ、木々の緑に囲まれ小さな生き物との関わりを好む子ども達にとって、乳幼児の活動環境は良好。
11	園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされているか。	3.67	個別の支援についての他機関との連携については課題の残る所ではあるが、個人情報との兼ね合いもあり今後に期待したい。 日常の活動や行事に於いては、インクルーシブルな視点での取り組みが行われている。 また、それに関する小グループでの会議も活発に行われている。
12	職員会議、ケース会議等が定期的に行われているか。	4.33	
13	園内研修が定期的に行われているか。	4.33	「研修」については、園の看護師や外部（消防署や警察署等）の実技（実地）講習得を行う他、講習を職員のラインに反映する等、誰でもいつでも学びの時間を持てる取り組みがあった。
14	園外研修に参加しているか。	4.67	「保育士の自己評価」では、不適切な保育をしてしまう項目として、41項目を挙げている。直接園児たちと接する保育者の保育の基本的な項目が挙げられていて、職員会議、ケース会議で意見交換をよくしていると感じられた。更に、「不適切な保育が起きないために…」では、43項目にわたって、保育者としてとるべき行動指針が示されていることに共感を覚える。どの項目も日常茶飯事起きがちな行動なので、日々の終礼などで、しっかり意見の交換を行い、個々の事例を自分自身の問題として捉え、業務を遂行してほしい。
15	自己研鑽による職員の資質の向上が図られているか。	3.67	
16	自己評価が行われているか。	4	
17	園に関する様々な情報提供（園だより・保育参観等）が行われているか。	4.33	情報発信については、保護者が良く活用しているSNS（インスタ等）を、もっと利用してよ

18	施設運営への保護者、地域住民の参画及び協力がされているか。	4	いのではと。 「小学校との接続」については、どんなことを保護者が希望しているのか、極端な事言えば、設問された保護者がこの設問に対してよく理解できていないために、あいまいな評価をしまう悪循環になってしまい低い評価になってしまうという事も考えられる。同じように、園の方でも、保護者が何を望んでいるのか把握できない部分があるのではないかとと思われる。
19	子育て支援（延長保育、一時預かりなど）が行われているか。	5	
20	遊具、玩具、絵本等が整備されているか。	5	

### 総合評価

保育内容（97%）食育活動（99%）安全管理（93%）この3項目が突出して良い評価を受けている。充実した園の活動がうかがえ、素晴らしい評価だと思います。ただ、小学校との接続に関して、満足度が72%と低い評価になっています。園が実施している事と保護者のニーズに隔たりのある可能性がみられます。対応が必要かもしれません。

また、「保育参加・保育参観」で、子ども達の園生活を親子で一緒に体験してほしい。友達との関りや育っていく姿を、子育ての楽しさとして共感していきたいとの取り組みは良い提案です。その様な試みがいいと思います。